

令和5年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

居宅介護支援事業所

姫路・勝原ホーム居宅介護支援事業所

令和5年度 事業計画

<p>目 標</p>	<p>住み慣れた自宅や環境での生活が継続できるように、介護保険の最新情報を確認しながら、生活意欲が高まる居宅介護支援を柱にケアプランの作成や相談支援を図る。</p>
<p>理 由</p>	<p>コロナ禍もあり、事業所連携システムやリモート研修など、対面でなくてもお互いに情報共有ができる社会に変わりつつある。5/8に緩和されるようになり、通常の業務に戻っていくと思われる。</p> <p>また、ブロック研修、外部研修、施設内覧会等、知識や情報を得る機会を作り、引き続き事業所内の定期会議で情報の共有を図りたいため。</p> <p>あわせて、相談しやすい雰囲気大切に、事業所内で困難事例を共有し、意見交換を積極的に行い、利用者や家族に寄り添ったケアマネジメントを行っていききたいため。</p>
<p>具体的対応策</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. リモートによる研修内容と困難事例に関する情報共有など、意見交換の機会を持つことで、対応能力の向上を図る。 2. 円滑なケアマネジメント業務を行うため、定期会議にて、対人支援に関する支援と技術を話し合い、スキルを高める。 3. 月例会議にて、接遇やリスクマネジメントに関する研修も行い、事業所としての底上げを図る。 4. 苦情や事故が生じた時には、事業所内で情報を共有するとともに今後の対策も話し合い、改善に努める。

令和5年度 事業報告

<p>事業報告</p>	<p>地域包括支援センターと連携して実施している委員会活動の中で、社会資源や取り組んでいる地域活動に関する勉強会を行い、知識を高めた。また、各居宅サービス事業所のコロナ関連の最新情報の収集を行った。それをもとに感染予防BCPマニュアル及び対策に取り組んでいる。</p> <p>引き続き毎週火曜日に開催している定期会議にて、情報収集した地域にある社会資源やインフォーマルサポートなどについて意見交換し、情報共有と共通認識を図り、利用者や家族に提案し、居宅介護サービス計画書に反映している。</p> <p>インフォーマルサポートを位置づけた居宅介護サービス計画書については、適切な内容になっているかどうかを確認するための事例検討会を適時開催している。出席者同士で話し合い、内容に関する意見交換していることで、互いに知識を高めており、利用者本位のケアマネジメントが展開しやすい体制につながっている。</p>
<p>事業運営総括</p>	<p>病院や地域包括支援センター、元利用者家族、居宅サービス事業所や居宅介護支援事業所の家族からの紹介があり、新規契約に至っているが、そのまま入所や入院するなど実績に繋がらないケースや申請しても結果的に要支援となり、相談等も含まれないケースもあったので、例年より4件増に留まった。</p> <p>毎週火曜日の定期会議にて、継続的に事例検討会を行っていることでケアマネジメント力は向上している。また、会議の中で新規や困難事例にとどまらず、利用者や家族との関係性を含め、ケアマネジメントのあり方に関する内容を話し合い、互いに理解を深めていることで、情報共有と共通認識は毎日の日課になっている。</p> <p>緊急事態時などにも事業を継続し、利用者に対応していくため、事業所内での協力体制を整備し、令和6年度も引き続きケアマネジメントや相談に関するマニュアルについて、PDCAサイクルをもとに見直し、一つひとつの関わりなど過程を大切にした相談支援をすすめていきたい。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 1.72》

令和6年3月31日 現在

	人数	割合
要支援1	12	8%
要支援2	12	8%
事業対象者	0	0%
予防計	24	16%
要介護1	66	41%
要介護2	32	20%
要介護3	18	11%
要介護4	15	9%
要介護5	4	3%
介護計	135	84%
合計	159	100%

新規契約者数

令和5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	5	6	4	7	7	1	6	5	4	4	4	3	56

利用者数

令和5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1・2	26	26	23	24	23	27	27	22	23	23	23	24	291
プラン数	123	130	130	133	133	127	130	130	132	132	124	135	1,559
合計	149	156	153	157	156	154	157	152	155	155	147	159	1,850

要介護認定調査数

令和5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅	2	2	3	5	1	1	2	3	3	3	5	2	32
特養	2	0	1	1	0	2	1	0	1	2	1	3	14
合計	4	2	4	6	1	3	3	3	4	5	6	5	46

職員の外部研修の受講状況 (令和5年度)

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
第1回網干ブロック研修	成年後見センターの機能と制度の理解について	介護支援専門員	2名	7月24日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第1回ケアマネジメントカ方向上会議	重度化予防、自立支援に資するケアマネジメント力の向上、地域課題の抽出について(事例検討)	介護支援専門員	2名	8月24日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第3回網干ブロック研修	薬剤師が教える薬局の上手な使い方について	介護支援専門員	3名	9月27日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
姫路市広畑準基幹圏域地域包括支援センター 主任ケアマネ研修・交流会	自筆証書遺言保管制度について	介護支援専門員	1名	10月24日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
3事業所合同勉強会	精神疾患を持つ家族への対応について(事例検討)	介護支援専門員	4名	11月10日	2日間	特別養護老人ホーム なごみの里	口頭・復命
第4回網干ブロック研修	神経難病の疾患理解とおさえておきたい制度について	介護支援専門員	1名	2月27日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第5回ケアマネジメントカ方向上会議	重度化予防、自立支援に資するケアマネジメント力の向上、地域課題の抽出について(事例検討)	介護支援専門員	1名	2月28日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
主任介護支援専門員更新研修	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向、実践の振り返りと指導及び支援の実践について	介護支援専門員	1名	2月1日	9日間	オンライン研修	口頭・復命

苦情対応

苦情なし

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
令和5年 6月13日	「公用車の接触事故」 事業所北側の駐車場に入ろうとした時に対向車が出てきたので、路を譲ろうとして、後退操作を行った時に、ポールに接触した。	①後退操作を行う前に後方の障害物との位置関係を把握する。 ②心に余裕を持った運転に努める。 ③車幅間隔を身に着け、周りの状況を確認しつつ、慎重に操作する。 ④接触しそうなときは後退せず、前進操作を行う。

※ 職員間の内部研修、避難訓練については、併設の特別養護老人ホームと合同で行い、参加している。